

政策シート 政策名 05 適切な伐採と流通の活性化

予算費目名 01 林業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大することで、SDGsや脱炭素社会の実現に資する。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源
-----	-------	--------	----------	-----	--------	-------	-------

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,090,564	1,029,709	1,284,800	1,235,676	1,042,585	1,004,452
決算	943,403	965,139	1,015,483	923,118	678,221	741,077
人件費(報酬等)(A)		1,611	1,651			
人件費(人工分)(B)	55,020	56,080	56,120	53,540	43,240	41,440
年間経費(決算+A+B)	998,423	1,022,830	1,073,254	976,658	721,461	782,517

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
年間木材生産量	m ³	目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		実績	141,085	109,624	121,673	121,992	111,749	101,581
森林経営計画認定面積(ha)	ha	目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
		実績	21,083	18,101	18,568	18,140	14,867	14,411
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・住宅・非住宅への天竜材(FSC認証材)使用に対する支援を行うとともに、特に天竜材使用の象徴的な非住宅建築物への支援を拡充することで天竜材(FSC認証材)の需要拡大に努めた。
・天竜材(FSC認証材)の地産外商を目的に、ジャパンホームショー2024への浜松市ブース出展や大阪・関西万博へのセールス活動を実施した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	遅れている
・林業・木材産業の成長産業化に向け、林道の維持補修、低コスト林業の推進による作業道の開設や高性能林業機械の導入支援等を行った。 ・天竜材(FSC認証材)の流通量や利用拡大のため、住宅・非住宅での天竜材使用への補助制度を設け、木材の地産地消を推進するとともに、ジャパンホームショー2024浜松市ブース出展や天竜美林ツアーの開催、大阪・関西万博への天竜材丸太の提供を実施し、積極的な天竜材(FSC認証材)のPR活動を実施した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	林道等整備事業	-	-		473,795	681,162	2.5				
2	低コスト林業推進事業	○	○		61,575	58,000	0.5			0.1	
3	木材需要拡大事業	○	○		224,885	241,271	1.8			0.7	
4	スマート林業推進事業	-	-		8,514	10,317	0.4				
5	林業成長産業化推進事業	○	○		1,829	1,129	0.1				
6	森林環境基金積立金	-	-		3,888	3,274	0.1				
7	森林管理運営経費	-	-		8,031	9,299	0.2				
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					782,517	1,004,452	5.60			0.80	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 林道等整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮、山村地域の振興などを目的に、林内道路網の整備と維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑬気候変動	⑮陸上資源	⑥水・衛生	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	林道等の整備を進めることで素材生産量の拡大につながるとともに、生産するために必要な林業従事者の雇用の創出につながる。			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	625,392	563,693	504,671	751,976	645,256	681,162
	決算	568,632	565,888	492,044	520,495	308,570	456,295
	国・県支出	137,865	97,187	120,904	129,571	93,796	102,478
	市債	192,800	169,600	210,000	224,900	176,400	151,500
	その他	24,878	94,419	38,259	9,892	32,849	163,052
	一般財源	213,089	204,682	122,881	156,132	5,525	39,265
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		20,300	21,000	21,000	20,660	18,200	17,500
人工	正規	2.9	3.0	3.0	2.9	2.6	2.5
	再任用(31h)				0.1		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		588,932	586,888	513,044	541,155	326,770	473,795

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
林内道路密度(m/ha) ※(公道延長+林道延長)÷民有林面積		目標	24.4	24.6	25.8	25	25.2	25.4
		実績	23.3	23.3	23.3	23.4	23.4	23.5
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 林内道路網を充実するため、国庫補助事業等を活用し以下の事業を行った。
- ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助事業により林道の開設【決算：46,060千円(うち前年度繰越：29,360千円)】
 - ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出【決算：43,119千円】
 - ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等【決算：256,182千円(うち前年度繰越：125,250千円)】
 - ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等【決算：30,533千円(うち前年度繰越：7,810千円)】
 - ⑤林道維持補修事業／市内の林道(204路線 約710km)を維持管理【決算：304,698千円(うち前年度繰越：61,879千円)】

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| ①公共林道整備事業(国庫補助)／ | 実績
林道開設1路線(繰越2路線) |
| ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／ | 林道開設3路線、改良・舗装1路線 |
| ③県単独林道整備事業／ | 改良29路線(繰越15路線)、舗装2路線(繰越1路線) |
| ④市単独林道整備事業／ | 舗装4路線他(繰越1路線) |
| ⑤林道維持補修事業／ | 林道維持補修委託3路線、工事16路線(繰越2路線)、小規模修繕等 |

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・地球温暖化等に起因すると思われる豪雨の増加で、林道・作業道被害が多発、大規模化しており、災害に強い林道づくりや維持管理が必要になっている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・2024年度は、8月の大雨等、計7回の異常気象により、通常工事の進捗に影響を及ぼした。また地権者との交渉に難航したこともあり翌年度繰越になる路線が発生した。
 - ・林道維持補修に係る大規模修繕必須箇所において工事を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・繰越となった林道・林業専用道の整備については、国及び県補助金を活用し計画的に事業を進めていく(林業専用道は新規開設を目指し、国庫補助採択のための全体計画の作成を実施)。
 - ・市単独事業については、計画的に事業を進めていく。

事業シート (事業名) 02 低コスト林業推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

効率的な林業経営の推進を目的に、森林施業の集約化に不可欠な林内路網(作業道、作業路、索道)整備や素材生産コストの低減に向けた林業機械導入等を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)エ					

(4) 関連するSDGsのゴール

		⑬気候変動		⑮陸上資源					
事業とゴールの関連性		高性能林業機械導入や作業道開設などによる効率的な持続可能な林業経営を推進することで、気候変動や自然災害に対する強靭性を高める。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	88,445	124,470	475,908	107,180	92,186	58,000
	決算	67,963	91,891	199,245	100,029	89,042	57,795
	国・県支出	18,146	46,040	130,899	27,580	35,535	
	市債						
	その他	16,163	45,851	68,346	72,449	53,507	38,809
	一般財源 一般会計繰入金	33,654					18,986
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,000	4,600	3,540	3,520	4,220	3,780
人工	正規	0.6	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5
	再任用(31h)	0.5	0.5	0.4	0.2	0.2	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						0.1
年間経費(決算+A+B)		73,963	96,491	202,785	103,549	93,262	61,575

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間木材生産量(m³)	I-1(1) 工	目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		実績	141,083	109,624	121,673	121,992	111,749	101,581
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	02	林業振興課	小林 和重	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ①林業機械・施設整備事業(補助金)
国・県補助事業の採択を受けた林業関係団体等が行う林業用機械、木材加工・流通施設整備等を支援
(当年度は対象事業なし)
- ②低コスト林業推進助成事業(補助金)
林道規程に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路の開設・補修及び索道の架設を支援

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

①林業機械・施設整備事業

- ②低コスト林業推進助成事業(補助金) 57,795千円
(作業道開設) 21路線 施工延長L=11,084m 補助金額25,638千円
(作業道補修) 40路線 施工延長L=18,909m 補助金額22,277千円
(作業路開設) 7路線 施工延長L=2,360m 補助金額4,365千円
(索道設置撤去) 29架線 施工延長L=6,030m 補助金額5,515千円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 林業機械等整備事業は、国、県補助事業の採択がなかった。
- 低コスト林業推進事業(補助金)では、豪雨により破損等した作業道補修を中心に、計画的な事業が実施された。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 低コスト林業推進事業(補助金)を活用し、路網整備を通じた作業の低コスト化を図っていく。

事業シート (事業名) 03 木材需要拡大事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業・木材産業の成長産業化を目的に天竜材(FSC認証材)の「地産地消」、「地産外商」を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	I-1(1)エ	I-1(1)オ	I-1(3)ウ			

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	④教育	⑤陸上資源	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	
事業とゴールの 関連性		適切かつ効率的な木材利用を進めるとともに、安心で質の高い教育・学習環境を提供することで、安全かつ強靱で持続可能な都市を実現する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	253,206	251,572	220,016	289,441	276,814	241,271
	決算	207,217	220,378	276,232	223,182	254,485	210,325
	国・県支出	4,500	5,270	5,558	25,823	14,330	3,144
	市債						
	その他	26,628	36,463	152,896	145,026	139,095	133,460
	一般財源	176,089	178,645	117,778	52,333	101,060	73,721
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		24,520	25,920	26,740	24,460	13,820	14,560
人工	正規	3.4	3.6	3.7	3.1	1.7	1.8
	再任用(31h)	0.2	0.2		0.3	0.3	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.3	0.6	0.3	0.7
年間経費(決算+A+B)		231,737	246,298	302,972	247,642	268,305	224,885

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
森林経営計画認定面積(ha)		目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
		実績	21,083	18,101	18,568	18,140	14,867	14,411
地域材利用建築件数(棟) ※天竜材の家百年住居る助成事業助成棟数		目標	250	250	250	250	250	250
		実績	146	131	160	154	142	123
FSC認証材生産量(m ³ /年)	I-1(1) オ	目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
		実績	67,048	59,550	65,568	57,170	62,198	2025.9頃
天竜材の利用拡大に向けた連携数(都市・団体)	I-1(1) オ	目標	4	4	5	5	5	6
		実績	5	5	5	5	5	5
森林組合作業班員数(人)		目標	200	200	200	200	200	200
		実績	173	165	161	149	151	2026.4頃

(管理番号)										
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)	
	01	02	05	01	001728000	03	林業振興課	小林 和重	2025.7.1	
新規就業者支援者数(2019～累計)(人)	I-1(3)	ウ	目標	66	86	106	126	146	166	
			実績	66	89	114	138	163	186	
			目標							
			実績							

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ①天竜材の家百年住居る助成事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
- ③森林整備・林業振興事業／森林組合や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。
- ④森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携を促進する。
- ⑤天竜林業イノベーション推進事業／林業の課題抽出及び解決検討調査を行い、イノベーション推進を目的とした講座を開催する。
- ⑥FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及啓発のための大手企業との連携、PRグッズの作成等の各種事業を実施。
- ⑦天竜材人材育成・担い手確保事業／林業従事者の安全対策や技術力向上、担い手確保・育成活動に助成する。



5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ①天竜材の家百年住居る助成事業／支援件数:123棟(FSC追加助成=72棟)
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／支援件数:19件
- ③森林整備・林業振興事業
 - ・森林環境保全直接支援、美しい森林づくり基盤整備／間伐等、森林整備に要する経費を支援(造林面積:20.56ha、間伐面積:380.77ha等)
 - ・合板・製材生産性強化対策事業(TPP対策)、林業・木材産業成長産業化促進対策事業／間伐に要する経費を支援(間伐面積:89.08ha)
 - ・浜松型林齢平準化促進事業／主伐に関する搬出等に関する経費を支援(搬出材積:15,802m³)
- ④森林活用等都市間連携事業／首都圏の都市や学校との連携事業を実施
- ⑤天竜林業イノベーション推進事業／市内林業関係事業者を対象に全8回中2回の講座及びワークショップを開催
- ⑥FSC認証材利用拡大推進事業／ジャパンホームショー2024へのブース出展、大阪・関西万博への天竜材丸太の提供実施
- ⑦天竜材人材育成・担い手確保事業／支援件数:12件(技術力向上:0件、担い手確保・育成:12件)等

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

SDGsや脱炭素化への意識の高まりなどから、施設等への木材利用の機運が高まっており、国産材の安定供給が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 天竜材(FSC認証材)の利用拡大のため、「地産地消」、「地産外商」を推進する事業を展開した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 森林環境教育推進事業／森林環境意識の醸成と天竜美林や天竜材(FSC認証材)に対する理解を深めるとともに、未来の林業従事者の確保・育成や天竜材の利用促進を実現する。(対象者:市内の中高生20名程度、未婚の男女20名程度)

事業シート (事業名) 04 スマート林業推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業、林道に関する情報のデジタル化により、情報管理の高度化並びに省力化及び生産性の向上を促進し、木材生産の増加を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	林道規程

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生				
		⑬気候変動		⑮陸上資源				
事業とゴールの 関連性	林道等の整備により木材生産が拡大し、森林環境の維持・向上に貢献できる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			10,000	35,782	10,825	10,317
	決算			9,086	33,752	10,825	5,714
	国・県支出				27,152		
	市債						
	その他			9,086	6,600	10,745	3,836
	一般財源 一般会計繰入金					80	1,878
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				1,060	1,400	2,800	2,800
人工	正規			0.1	0.2	0.4	0.4
	再任用(31h)			0.1			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)				10,146	35,152	13,625	8,514

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
林道情報のデジタル化(km・累計)		目標	-	-	150	300	400	
		実績	-	-	161	274	351	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	04	林業振興課	小林 和重	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ①林道管理システム構築
- ・林道台帳のデジタル化は2021(R3)年度までに全路線(204路線・710km)完了
 - ・マッピングGIS(三次元点群)データの取得は2023(R5)年度までに主要路線(80路線・351km)完了
 - ・2024(R6)年度は事業なし
- ②LPWA活用推進事業
- ・LPWAエリア構築事業／モデル地域(天竜区龍山町)において、LPWA通信インフラの維持管理を実施
 - ・LPWA活用モデル事業／林業従事者に対し位置情報の把握が可能な子機を貸し出し、携帯圏外でのコミュニケーションやトラブル対応の安全確保、木材運搬車や林業機械の位置情報把握による労働生産性向上を検証



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題
- 指標の達成度
- ①林道管理システム構築
- ・林道台帳のデジタル化は、2021(R3)年度までに全路線(204路線・710km)完了
 - ・マッピングGIS(三次元点群)データは、2023(R5)年度までに主要路線(80路線・351km)完了
- ②LPWA活用推進事業
- ・モデル地域(天竜区龍山町)でのLPWA通信インフラの維持管理と3事業体による携帯圏外でのコミュニケーション構築等のモデル事業を実施
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
- ・デジタルファースト宣言(市)によるデジタル化の促進



6 事業の見直し (Action)

- (1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ①林道管理システム構築／林道路線情報の主要路線の一部がGIS化されるため、今後の林道災害時や通常の維持管理時における有効な利活用が見込まれる。
- ②LPWA活用推進事業／引き続きモデル事業を実施
- (2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・林道管理システム構築／主要路線のマッピングGIS(三次元点群)データの取得が終了。今後、林道デジタル台帳の維持管理を実施。
 - ・森林モニタリング推進対策事業／災害発生現場や開発行為現場等の状況を適時に把握し、行政の迅速な対応を可能とする体制を整備するため新設。

事業シート (事業名) 05 林業成長産業化推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域の「素材生産」、「製材・加工」、「木材流通」のキープレイヤーが一体となり、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2017	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)エ					

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげることは、持続可能な経済成長と産業化の促進及びイノベーションの推進を図るものである。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	77,289	40,442	61,437	35,609	1,500	1,129
	決算	56,246	40,136	29,972	33,776	1,500	1,129
	国・県支出	56,166	40,085	29,948	27,250		
	市債						
	その他				6,526	1,500	758
	一般財源	80	51	24			371
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,460	2,380	1,400	700	700
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
	再任用(31h)		0.1				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1			
年間経費(決算+A+B)		58,346	42,596	32,352	35,176	2,200	1,829

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間木材生産量(m³)	I-1(1) 工	目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		実績	141,085	109,624	121,673	121,992	111,749	101,581
FSC認証材生産量(m³)		目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
		実績	67,048	59,550	65,568	57,170	62,198	2025.9頃
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	05	林業振興課	小林 和重	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

林野庁から指定された「林業成長産業化地域創出モデル事業」が2021(R3)年度で終了(期間:2017~2021年度/5年間)。この取組を更に進め、本市林業の成長産業化を推進するため、天竜材(FSC認証材)の多様な分野への展開に向けた「地産地消・地産外商推進」及び「製品開発支援」に関する取組を支援した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・引佐町森林組合/林業情報技術増強事業 補助金1,129千円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

林業成長産業化推進事業により森林組合が行う林業情報技術増強事業への補助を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・2025年度は制度新設から4年目。引き続き、新たな制度を推進することで更なる林業の成長産業化を目指す。

事業シート (事業名) 06 森林環境基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

森林、河川等の自然環境を守り育て、森林の公益的機能を維持増進し、併せて林業の振興を図るため、2006(平成18)年4月に創設した「浜松市森林環境基金」への積立を適正に行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市森林環境基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	④教育	⑤陸上資源	⑥水・衛生			
事業とゴールの 関連性		基金は、森林、河川等の自然環境を守り育てるための事業、森林の有する公益的機能を維持増進するための事業及び林業の振興を図るための事業に要する経費に充てるため、さまざまな持続可能な開発目標とリンクしている。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	34,896	34,315	3,003	3,009	4,611	3,274
	決算	34,646	34,314	1,814	2,512	4,611	3,188
	国・県支出						
	市債						
	その他	34,646	34,314	1,814	2,512	4,611	3,188
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		35,346	35,014	2,514	3,212	5,311	3,888

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○基金への積立

- ・寄附金 8件及び寄付金箱 2,914千円
- ・利子 274千円
- ・森林環境譲与税 0千円

○基金の効果的な活用

- ・3事業 6,555千円



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・森林環境基金への寄附金及び基金の運用収入、森林環境譲与税を基金に積み立てることで、森林環境基金活用事業の財源として活用した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 07 森林管理運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	11,336	15,217	9,765	12,679	11,393	9,299
	決算	8,699	12,532	7,090	9,372	9,188	6,631
	国・県支出				1,605		
	市債						
	その他	171	5,611	78	154	273	162
	一般財源	8,528	6,921	7,012	7,613	8,915	6,469
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)		1,611	1,651			
	人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	700	1,400	2,800	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					0.5	
年間経費(決算+A+B)		10,099	15,543	9,441	10,772	11,988	8,031

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート 政策名 05 適切な伐採と流通の活性化

予算費目名 02 林業施設災害復旧費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿
(30年後)

◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱
(10年後)

◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑩イノベーション	⑬気候変動	⑮陸上資源						
-------	----------	-------	-------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	260,000	820,000	310,000	650,000	1,662,000	1,277,539
決算	312,483	305,247	386,719	592,889	655,079	1,010,611
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	2,100	2,100	2,100	2,800	4,200	3,850
年間経費(決算+A+B)	314,583	307,347	388,819	595,689	659,279	1,014,461

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
災害復旧工事の着工率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	99	100	100	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

・2024年度は、国庫補助災害11路線12箇所(R5線越10箇所)及び単独災害87路線(156箇所)となった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	林業施設災害復旧事業	-	-		1,014,461	1,277,539	0.6				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					1,014,461	1,277,539	0.55				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 林業施設災害復旧事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律 等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑬気候変動	⑮陸上資源	⑥水・衛生	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	異常な自然現象によって受けた被害を復旧することは、持続可能な森林経営等につながる。			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	260,000	820,000	310,000	650,000	1,662,000	1,277,539
	決算	312,483	305,247	386,719	592,889	655,079	1,010,611
	国・県支出	125,255	34,060	118,106	234,840	349,141	440,128
	市債	7,200	41,900	143,300	191,500	253,200	273,700
	その他						
	一般財源	180,028	229,287	125,313	166,549	52,738	296,783
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100	2,800	4,200	3,850
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.4	0.6	0.55
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		314,583	307,347	388,819	595,689	659,279	1,014,461

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
災害復旧工事の着工率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	99	100	100	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	02	001728000	01	林業振興課	小林 和重	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ①国庫補助 災害復旧事業【決算見込:492,337千円】
 国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を債務事業で8路線9箇所を行った。
 また、3路線3箇所は施工中である。
- ②市単独 災害復旧事業【決算見込:518,273千円】
 市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題
 指標の達成度
 ・2024年度は、国庫補助災害11路線12箇所(R5繰越10箇所)及び単独災害87路線(156箇所)となった。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

- (1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・災害発生後、早期に対応したことにより発生した災害は可能な限り着工することができた。
- (2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・災害が発生した場合には、市民生活や林業経営の維持のため、早期着手・早期完了を目指していく。